

# 安全かつ早期の処理完了に向けた市の取組状況

平成 30 年 1 月 北九州市環境局

## 1. 処理の安全性確保

### (1) 北九州 P C B 処理事業所の監視指導

毎月ペースでの事業所への立入検査を行うとともに、安全操業に関する報告徴収を通じたチェックを実施。また、事業会社と運転会社の会議や事業所内研修に毎月参加して全てのリスク情報を現場から直接収集・把握するなど、適切な操業管理を徹底。



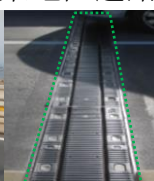
「事業所内立入検査の様子」



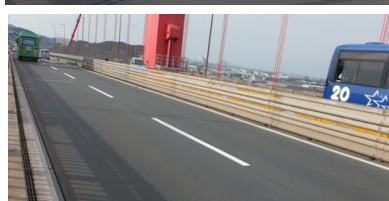
「事業所内研修の様子」

### (2) 輸送路の安全対策事業の実施

P C B 廃棄物輸送路の安全対策事業として、「若戸大橋の改修工事（鋼床板の連続化及び関連部材の改修）」、「響灘東地区道路の補修工事（舗装改良工、区画線工等）」が完了。



施工  
前



↓  
施工  
後



## 2. 期間内での確実な処理

北九州事業エリアの対象自治体に対して、関係会議の開催に加え、本市職員が個別訪問し取組状況の把握及び本市取組の水平展開を行うとともに、早期処理に向けた取組強化を文書にて要請。また、J E S C O への処分委託状況の進捗管理会議を関係者において毎月実施。

### (1) 第 4 回北九州 P C B 廃棄物処理事業に係る西日本広域協議会の開催

【開催日】：平成 29 年 7 月 26 日

【参加自治体】：豊田、大阪、北九州事業エリアの 27 府県・41 市

※「第 5 回西日本広域協議会」を平成 30 年 2 月 1 日に開催予定

### (2) 北九州事業エリアの対象自治体に対して期間内処理達成に向けた取組みの徹底を要請

【文書発出】：対象の全自治体に対して要請文書を発出（平成 29 年 11 月 1 日）

【個別訪問】：課題を抱えている自治体に対して随時訪問

### (3) J E S C O への処分委託状況の進捗管理会議を関係者において毎月実施

【関係者】：J E S C O、環境省、本市

【会議内容】：J E S C O 未登録・未契約事業者の状況と対策について

### 3. 地域の理解（情報発信）

#### （１） 北九州市環境・コミュニティセンターの運営

【利用者数】：26,925人（延べ人数：平成29年12月末現在）

【主な団体利用】：地元団体、地域・まちづくりクラブ、小学校、ボランティアの会

【参 考】：情報発信機能の充実に向けたこれまでの改修内容

- ・処理の進捗状況や環境モニタリングデータの更新頻度を上げて最新情報を提供
- ・処理対象や処理期限など事業をわかりやすく紹介したパネルを設置
- ・事業の経緯や現状が一連で詳しく理解できるように関係会議の資料を閲覧

#### （２） P C B処理に関する情報サイト（専用ホームページ）による情報発信

【アクセス数】：42,819件（平成29年12月末現在）

【発 信 内 容】：P C B廃棄物処理施設操業情報、環境モニタリング結果、監視会議等の開催案内・会議資料、P C B処理だより発行情報等

【参 考】：ユーザビリティの向上に向けたこれまでの改善内容

- ・サイト構成の見直し（情報を整理してサイトをスリム化）
- ・検索機能の強化（特定のキーワードで狙ったページ検索に対応）
- ・トップページに処分期間の末日までをリアルタイムにカウントダウン表示

#### （３） 高専生を対象にした「北九州P C B処理事業所見学ツアー」の実施

【実 施 日】：平成29年6月13,27日、7月18,25日

【参 加 者】：北九州工業高等専門学校（生徒185名）



「中央制御室の見学の様子」



「情報公開ルームの見学の様子」

#### （４） 北九州市P C B廃棄物処理事業関係自治体との地域間交流の実施

○松江市環境イベント「2017 松江市環境フェスティバル」に本市環境ブースを出展。

○本市環境イベント「北九州エコライフステージ2017」に静岡県、名古屋市、豊橋市、滋賀県、島根県、福岡県が参加。



「本市出展ブースの様子」



「本市環境イベントへの他自治体参加の様子」

（以上）